

「スマグラ!!」提案概要書

～建設現場におけるスマートグラスの活用～

長岡工業高等専門学校 Be-Mice Engineering

メンバー 電気電子システム工学科4年

電子機械システム工学専攻1年

指導教員 込山晃市

○大野俊介

佐藤楓太

環境都市工学専攻1年

電気電子システム工学科3年

小林瑚伯

星野佑汰

これまでの取り組み

スマートグラス



現場見学会

安全・快適な
現場見学会を！

はしをし！！

<第4回インフラテクコン提案アイデア>



今回の課題

大林組さんの課題に挑戦！

「もっともっとウェルビーイングな未来の建設現場を考えよう」

私たちの考えるウェルビーイング

安全性の向上

従業員の安全性が保たれ
安心して働ける状態

作業の効率化

従来より短い時間で同様の
作業結果を得られる状態

新技術の利用

斬新な技術を業務で利用
でき、創造性がある状態

DX技術で働きやすく、安全で、健康的な建設現場を！

スマートグラスを建設現場で活用！

必要な機能を選定するために

- 大林組さんの現場見学会に参加
- 昨年のインフラテクコンの意見交換会にて、建設業界で、DX技術の活用で解決できる課題はないかヒアリング

今回の提案内容

スマートグラスを活用し作業者の安全性と作業効率を向上を目指す

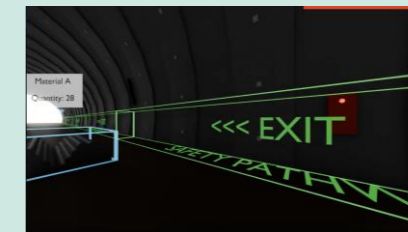
機能の紹介

4D設計



構造物が組み上がる
様子がタイムラプス
形式で表示される

ナビ機能



資材置き場、侵入禁止
区域、緊急時の通路な
どが表示される

チャット機能



作業員同士のチャット
をスマートグラス上で
送受信できる

スマートグラスを使用することで従来の作業方法をさらに
効率的に、安全面を保証できる機能を選定

スマートグラスを活用する利点

- 現場で直接4Dによる工程を確認することで作業面、安全面の計画が容易になる！
- 携帯電話やデバイスを取り出す手間が省ける！

今後の展望

機能をアプリケーション化し、UXがスマートフォンやタブレット等の既存システムを使用している時に近づくため、操作に対して障壁を少なくできることを目指す！

まとめ

スマートグラスを導入し、作業効率や安全性の強化を行う

ウェルビーイングな建設現場を実現できる！

